

2025

6月15日(日)

時 間：10:00～16:30

会 場：大阪歯科大学 天満橋学舎

(※会場は変更する場合があります)

1 コース / プライマリーコース

定員:50名

対象 歯科医師・学生

研修費 歯科医師(会員)10,000円、歯科医師(会員5年未満)5,000円
歯科医師(会費未納者、他大学)20,000円

歯内療法を成功させるためのlogic



神戸 良

略歴

2005年 昭和大学歯学部卒業
2013年 良デンタルクリニック開業

所属

日本歯科保存学会
日本歯内療法学会
AAE(米国歯内療法学会)

Zeiss公認インストラクター
FKG公認インストラクター

近年、歯内療法に用いる機材は目ざましい進歩を遂げた。マイクロスコープ、Ni-Ti ロータリーファイル、CBCT、バイオセラミックマテリアル、超音波機器など新しい機材は毎年のごとくアップデートされ、その種類をあげれば枚挙にいとまがない。

これらの機材を日常臨床に適応することでかつては困難であった症例も良好な経過を得ることができるようになったと感じることも多くある。

しかし、機材が進歩しても歯内療法を成功させるためのlogicが変わったわけではない。

歯内療法で高い成功率を得るためにはただ単に最新の機材を用いるだけでは達成することはできない。

良好な予後は歯内療法を成功させるためのlogicに基づいた治療が行われてこそ初めて得られるものである。

そこで本講演では歯内療法を成功させるために「歯内療法の検査と診断」、「歯髄保存療法(生活歯髄療法)」、「抜髄に代表されるようなイニシャルトリートメント」について日常臨床に必要な歯内療法を成功させるためのlogicを再考してみたい。